

午後 II 試験

問 1

出題趣旨

近年、業務からのニーズに応えるためにデータを活用した情報の提供を増えている。システムアーキテクトは、ニーズを分析し、どのような情報を提供するのかを検討する必要がある。また、このような情報の提供では算出元のデータが企業内にはないなどの課題があることも多い。そのため、課題に対応するための工夫も求められる。

本問は、業務のためにデータ活用をする際に、求められたニーズ、ニーズの分析結果と提供した情報、情報の提供に課題があった際の工夫について、具体的に論述することを求めている。論述を通じて、システムアーキテクトに必要な要求の分析能力、課題への対応能力などを評価する。

問 2

出題趣旨

近年、情報システム開発期間の短縮、業務品質の向上などのために、情報システムの構築に、業務ソフトウェアパッケージ（以下、パッケージという）を導入するケースが増えている。システムアーキテクトは、実現したい業務機能を達成するために、パッケージが提供する機能と実現したい業務機能とのギャップをどのように解決するか検討し、利用部門に選択してもらう必要がある。

本問は、パッケージ導入の際に生じる実現したい業務機能とのギャップ、及び解決策について、具体的に論述することを求めている。論述を通じて、システムアーキテクトに必要なパッケージ導入に関連した能力と経験を評価する。

問 3

出題趣旨

AI、IoT の進展もあり、組込みシステムが処理するデータ量は年々増加している。一方で、組込みシステムはシステムそれぞれ特有の制約条件をもち、データ量の増加に対応するためには工夫が必要である。組込みシステムのアーキテクトは、その制約条件を把握し、データ量増加に対応したシステムを構築する必要がある。

本問は、解答者が開発に携わった組込みシステムにおいて、データ量の増加で発生した問題をアーキテクトとしてどのように解決して目的を達成したか、具体的に論述することを求めている。論述を通じて、システムアーキテクトに必要な要件分析力と分析に基づくシステム構築力を評価する。